

TPPの危険早くも明らか

**コメ・医療保険も自由化
野田首相 否定せず
参院予算委**

日米首脳会談で環太平洋連携協定（TPP）への交渉参加にむけ、関係国との協議入りを表明した野田佳彦首相が15日の参院予算委員会で帰国後初の国会審議に臨みました。この中で首相は、アメリカが求めているコメや公的医療保険の自由化について、「何でも100%というのは想像できない」とのべ、可能性を否定しませんでした。TPP交渉参加で対日要求の実現を迫られる危険性がいつそう浮き彫りになりました。

野田首相は、米政府が「すべての品目、サービスを貿易自由化交渉のテーブルに乗せるとの野田首相の発言を歓迎する」と発表したことについて、「一言も言っていない」と答弁。しかし、「事実関係はなかったとアメリカは認めた」として訂正は求めない考えを示しました。

ところが、「コメは（関税撤廃の）例外品目にするのか」との質問には、「何を守るかという手のうちを出すことはない」と明言しませんでした。国民皆保険制度についても、「根本から変える場合は拒否する」とのべる一

方で、「自由化の対象となること（場合によってあるかもしれない。100%どうかは分からない）」と「混合診療がどうか」とか、分かりませんよ」など無責任な答弁を繰り返しました。

また、首相は、「国益を損ねてまで交渉参加するということはない」とのべつつ、「あくまで協議がとこのよう全力をあげる」と答弁し、協定参加への強い執念をみせました。

自民党の山本一太議員に対する答弁
2011年11月16日(水)

**北電・泊原発「やらせ」道の指示明らかに 本紙
メモ入手
よ“北電社員も地元住民だ”**

「北電社員も地元住民だよ」最後は地元の声」「道民投票を」という意見を潰（つぶ）す材料にもなる」。

北海道電力泊（とまり）（原発）泊村のプルサーマル計画をめぐる「やらせ」問題で、北電の第二委員会が「道の『やらせ』関与は否定しがたい」と判断する根拠となつたメモの全容が18日までに明らかになりました。

国からプルサーマル計画の推進を迫られた道の担当者が、北海道電力側に賛成意見の組織を進めるよう求めた内容です。高橋はるみ知事は道の「やらせ関与」を否定していますが、国と道、電力会社が一体となって道民世論を愚弄（ぐろう）し、プルサーマル計画を推進した実態が、あらためて浮き彫りになりました。

2011.11.22 NO.528

日本共産党

磯城郡議員団だより

芝和也 Eメール info@k-shiba.jp
川西町結崎 862-7 0745-43-2415
吉田容工 Eメール katunori_yosida@ybb.ne.jp
田原本町大木 113-5 090-5257-4446
森良子 Eメール qfndg008@ybb.ne.jp
田原本町鍵 281-1 0744-33-8570
(事務局) 池田年夫 Eメール uvkk87386@zeus.eonet.ne.jp
三宅町屏風 440-5 0745-43-2661

たこのメモは、2008年7月8日に道庁会議室で行われた道原子力安全対策課（3人）と北海道電力（5人）の協議を北海道電力側が記録したものです。冒頭、道側が資源エネルギー庁から、道の有識者会議の検討

町村にも頼んでいるが、北電の地元でのネットワークにも期待したい。また、北電社員も地元に住んでおり、地元住民だよ...。ちなみに「〇〇町、匿名希望」でも受け付けている。

観点としては、

- ・地元の意見を尊重してほしい。
- ・反対発言の内容は、外から来て地元の感情を逆なでするものだ。
- ・有識者検討会議を地元で開いてほしい。

というものがほしい。

やはり、協定に基づき協議しているもので、地元以外からいるんな意見があっても、「最後は地元の声」という材料にもなるし、「道民投票を」という意見を潰す材料にもなる。

また、承知のとおり、次回会議が8月3日ということは前回会議で言ったが、どこで開くかは言っていない。なので、地元で開くこととした理由も欲しいので...

この他、必要性についての意見があっても良い。「有効利用」、「政策と

東日本地震への 救援募金に「協力」を

日本共産党は被災者の救済・支援のために、救援募金を呼びかけています。

【郵便振替口座】
00170017198422

名義は、日本共産党中央委員会です。送金いただく場合は、振替用紙の通信欄に、かならず、「地震救援募金」である事を明記して下さい。「ご協力よろしくお願ひします。」

磯城郡日本共産党議員団

ペースを早め、各委員には「レクが必要では」と対策を求められたことを伝え、委員（7人）への対応を相談しています。

道自身が実施した意見募集についても相談が行われ、道側は「反対意見ばかり。地元から反対派の主張を打ち消す意見もほしい」と述べています。

道から地元町村への指示をうかがわせる内容も含まれ、「町村にも頼んでいるが、北電のネットワークにも期待したい」「北電社員も地元に住んでおり、地元住民だよ...。ちなみに」町、匿名希望でも受け付けている」と「やらせ」を指示しています。

さらに「地元の意見を尊重してほしい」「反対発言の内容は、外から来て地元の感情を逆なでするものだ」「有識者検討会議を地元で開いてほしい」というものがほしい」と具体的に「やらせ」内容を提示。「地元以外からいるんな意見があっても、最後は地元の声」といつ材料にもなるし、「道民投票を」という意見を潰す材料にもなる」と、「やらせ」で出た「地元意見」を口実に、道民の意見を無視して、なりふり構わずにプルサーマル計画を推進する道の姿勢が鮮明になっています。（北海道・小泉健一郎）

日本共産党発行
しんぶん 赤旗
月刊 3,400円
日曜版 800円

言い逃れ通用しない

日本共産党の真下紀子道議の話。メモに記録された生々しいやり取りから、道の「やらせ」関与だけでなく、国からの指示や、道から町村への働きかけまでが明らかになりました。道民を無視した言い逃れはもう通用しません。

2011年11月19日(土)

明暗

カウントダウンにはまだ橋下さん。そこには民意がだちよつと早いですが、それでも今年も後四十日を切りましたんで、それを抜けて落ちています。

しかし、橋下人氣が絶すよね。毎年そうですが、大な事と、自民や民主のぼちぼち年賀状の準備に支持層のあまりにも多くもかからんとあかんのです。それが、皆さんはどうですか。私は、そう思いつつ支持率が依然低い事が否もズルズル行つて、結局、めません。

さて、二十七日は注目大阪市長選挙の投票日です。さあ、大阪市民の皆さん、報道では平松さんを橋下さんが一歩リードと言うのが大方の見かたのようです。私としては、一人の指揮官の思い通

り、事を進めようとする橋下さん。そこには民意を汲み反映させようとする民主政治の基本姿勢が抜け落ちています。

しかし、橋下人氣が絶すよね。毎年そうですが、大な事と、自民や民主のぼちぼち年賀状の準備に支持層のあまりにも多くもかからんとあかんのです。それが、皆さんはどうですか。私は、そう思いつつ支持率が依然低い事が否もズルズル行つて、結局、めません。

さて、二十七日は注目大阪市長選挙の投票日です。さあ、大阪市民の皆さん、報道では平松さんを橋下さんが一歩リードと言うのが大方の見かたのようです。私としては、一人の指揮官の思い通

地震被害想定

調査結果

奈良県は平成九年に第1回調査結果を発表していましたが、県内の活断層の規模が見直されたことを受けて平成一九年に第2回調査結果を発表しました。

奈良盆地東縁断層帯三五km生駒断層帯三八km木津川断層帯一一kmなど大幅に規模が大きくなっています。本町に大きな影響を与える断層は、先の三つを含め八か所確認されています。

八か所の断層を震源とする地震による被害は、どれも、震度六強、液状化率二一%、全半壊建物数八千から九千棟、火災消失建物数八百棟、死者

二百人、避難者数九千人以上、断水一〇〇%、停電一〇〇%、下水道被害一五%などと予想されています。液状化の影響で他市町村と比べて被害が大きい予想です。

地震発生一週間後の避難者数は約一万人に増えるそうです。現在、町の備蓄は約三千人分です。全く足りません。千棟以上が消失すると予想されている自治体は、奈良市、大和郡山市、橿原市、天理市です。消防車の応援は期待できません。東南海・南海地震時の液状化率は一〇%で、三宅町、新庄町とワイスト三に挙げられています。

田原本町議会議員 吉田 容上



案内しました

先日、私の友人が訪ねて来ました。この時代の人々の知恵

この友人は他県で生まれ育った人で、田原本町の事は全く知らないの

少しでも知って頂けたら私達の生活につながって

と思い、まず「唐古 鍵 遺跡」を案内しました。謝「有難う」の文字が

あいにくの雨だったので私の頭に渦巻く不思議な

全体を見渡しただけで、気持ちになりました。

次に「唐古 鍵考古学ミュージアム」にお連れしました。この「唐古 鍵考古学ミュージアム」に皇太子さまが

「で入館は無料でした。来られます。どう、お感

具、工具などさまざまですね。

物を目のあたりにしてみれば、この弥生時代の人々は自然と闘い、また共存

は自然と闘い、また共存

は自然と闘い、また共存

は自然と闘い、また共存

は自然と闘い、また共存

は自然と闘い、また共存

は自然と闘い、また共存

は自然と闘い、また共存

は自然と闘い、また共存

は自然と闘い、また共存

は自然と闘い、また共存

「男性の料理教室」OB交流会

11回目の「男性の料理教室」OB交流会が、20日三宅町のあざさ苑で行われました。この交流会は、各自治体の「男性の料理教室」を卒業したOBでサークルを作っている人たちの交流会です。

当日は、生駒市「ぶりの会」、香芝市「食いしん坊クラブ」、桜井市「いきいきシルバークッキング」、大和郡山市「MCC'99」からの代表18名、三宅町からは「SABAの会」の14名が参加し、サンマご飯・かんたん洋風おから・ほうれん草胡麻和え・エビと野菜の天ぷら・柿の弁当、冬瓜スープ、カフェゼリー(コーヒータン)をつくり、交流しました。

参加者からは「サンマご飯は初めて頂いた。よかった方がよかったのではないか」「もち米を入れたら」「おからが非常に良かった」「おからは小さいころおふくろが作ってくれた。久しぶりにおふくろの味を味わった」などの感想が出されました。

三宅町 池田 年夫



田原本町議会議員 森 良子

